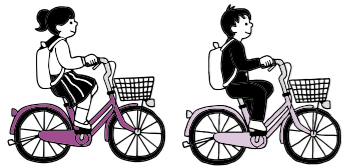


### 反射材を活用しよう

この時期は、思うよりも早く辺りが暗くなります。夕方からの外出には反射材を活用し、ドライバーに自分の存在をアピールし、交通事故防止に努めましょう。

☎交通政策課(5階) ☎561-2343、☎561-2487



### 横断歩道利用者ファースト運動

信号機のない横断歩道上では、ドライバーは「歩行者に道をゆずる」という歩行者保護の運動に努め、歩行者は安全確認後に横断歩道を通行し、ドライバーに謝意を表すなど、互いに「思いやる・ゆずり合う」気持ちで交通事故を防ぎましょう。

☎交通政策課(5階) ☎561-2343、☎561-2487



## ココロもカラダも幸せに☆ 草津、み~つけたびっ!

### 家族の絆と地域の結束を描いた映画が完成!

みんな、草津のサンヤレ踊りは知っているたび?市内の7地域(矢倉・下笠・片岡・長束・志那・吉田・志那中)に伝承されてきた風流芸能で、国の無形民俗文化財にも選択されているたび!その中の1つ、「矢倉のサンヤレ踊り」にスポットを当てた映画を、矢倉学区未来のまち協議会で制作されたたび。伝統や文化は、生み出してきた人たちの願いと、それを受け継いできた人たちの努力があって、磨かれていくたびよ。ぜひ、音楽や映像から五感で楽しめる映画を見に来て、みんなも文化の継承を考えてみてほしいたび。



### 「サァー行こか」完成披露上映会

📅 11月24日(日) 14:00開場(14:30開演)  
📍 草津クリアホール(野路六)  
🗨️ 矢倉学区未来のまち協議会(東矢倉二、矢倉まちづくりセンター内) ☎・☎565-1560  
まちづくり協働課(2階) ☎561-2324、☎561-2482



## 10月臨時市議会

### 議長など決まる

10月8日、市議会議員一般選挙後、初の市議会が開かれ、議員による選挙で、議長に瀬川裕海議員、副議長に永井信雄議員を選びました。

また、監査委員に山元宏和議員を選任することに同意しました。

この他、各常任委員会、特別委員会の委員長、副委員長は、次のとおりです。

(正・副の順、敬称略)

- 議会運営委員会…中嶋昭雄、奥村恭弘
- 総務常任委員会…遠藤覚、中嶋昭雄
- 文教厚生常任委員会…西田剛、西垣和美
- 産業建設常任委員会…中島美徳、横江政則
- 予算審査特別委員会…横江政則、小野元嗣
- 決算審査特別委員会…西垣和美、中島美徳
- 都市再生特別委員会…伊吹達郎、西田剛
- 議会改革推進特別委員会…小野元嗣、遠藤覚
- 総合計画特別委員会…西村隆行、伊吹達郎

※お名前については、常用漢字などに変更して掲載しています。ご了承ください。

🗨️ 総務課(3階) ☎561-2301、☎561-2483、議事庶務課(3階) ☎561-2413、☎561-2485



瀬川裕海 議長



永井信雄 副議長



山元宏和 監査委員



## はしかわ市長の だいすき! くさつ ~出合いの365日~

### 子どもも大人も宝物

秋が深まってまいりました。今年の秋は、ラグビーワールドカップ日本代表の躍進やノーベル賞の発表と世界レベルの話から、信楽を舞台にした連続テレビ小説の放送開始といった身近な話題で、心躍る時間を持たれた方も多かったのではないのでしょうか。そのような中、カン又国際映画祭でも高く評価された作品が、国内で公開され話題になっています。中東の貧困と移民問題の現状を描いた「存在のない子供たち」という映画です。誕生日も知らない、戸籍もない少年を主人公に、両親を告訴するに至るまでの痛切な思い、すべての子ども達にあるはずの「愛される権利」を求める子の姿を周囲の無関心とともに映し出しています。11月は児童虐待防止推進月間です。今号の特集でも、自身自身の行動を振り返っていたたくヒントを掲載しています。虐待は個人や家族だけの問題ではなく、地域の課題としてとらえる必要があります。子どもは社会全体の宝物。皆で大切に育んでいきたいものです。草津市では、子育て支援に力を注いでまいりました。妊

娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を進めるため、平成28年6月に子育て相談センターを開設しました。また、昨年南草津駅前、オープンしたミナクサ☆ひろばでは、当初の予想を大きく上回る年間5万人もの御家族に、御利用いただくことができました。子育てに対する不安な気持ちや悩みを相談する場所と支える仕組みを整えて、安心して出産や子育てできるように支援しています。地域を見渡すと、日頃から「つながる」活動を、自分たちの力で立ち上げる子育て世代も増えてきました。私は、子どもを育てる大人自身が守られること、力をつけること、幸せになることも大切であると思います。悩みを抱えた時は、ひとりで抱え込まず、家族や友人、地域の人々、市役所を頼っていただき、一緒に考えていければと思います。子どもが社会の宝物ならば、同時に大人も社会の宝物です。大切な子どもを守るために、自分自身も大切にできる社会。そのような地域社会を築いていくため、これからも市民の皆様とともに努力してまいります。